

# 長崎新聞

発行所  
長崎新聞社  
長崎市茂里町3-1 〒852-8601  
©長崎新聞社2017

**レンタカー アドバイザー**  
のいるお店  
レンタカーは保険制度をご確認の上、ご利用下さい。  
安全で、安心なレンタカー  
**トヨタレンタカー**  
0800-7000-1115  
長崎でのご予約は  
**0120-85-0100**

## 10月27日(金) 仏滅

総合案内 (095)844-2111  
 報道部 (095)846-9240  
 広告部 (095)844-2804  
 編集部 (095)844-3001  
 販売部 (095)844-5063  
 読者サービス課 (095)844-2139  
 関係社(株) (095)844-7793  
 佐世保編集 (095)639-1454

本県の文化・教育・産業・科学・平和・福祉の発展・振興、向上に  
 尽力した方々を顕彰する2017年度「長崎新聞文化草」の受賞  
 が決まった。1965年の創設以来、62回目となる本年度は、次  
 の3氏が選ばれた。

### 文化・教育部門

なかしま きみひこ  
**中島 公彦氏**



県子ども会育成連合会顧問。半  
 世紀以上にわたり子どもたちの健  
 全育成に尽力。実行委員長として  
 会の九州大会や全国大会を本県で  
 開催し、その活性化に努めた。1  
 995年に勲四等瑞宝章受章。長  
 崎市上田町。95歳。

### 平和・福祉部門

ふかほり まちとし  
**深堀 好敏氏**



長崎平和推進協会写真資料調査  
 部長。原爆に関する写真を地道  
 に調査し、被災資料の保存公開に  
 ついても各方面へ助言。一連の活  
 動が原爆の悲惨さを国内外に伝え  
 る資料の充実につながった。長崎  
 市坂本3丁目。88歳。

### 文化・教育部門

やました じょうおる  
**山下 亨氏**



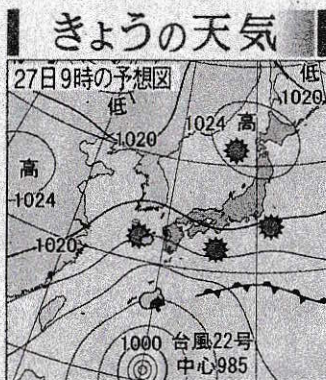
長崎ギター音楽院院長。県新人  
 演奏会ギター部門創設に尽力し、  
 国内外で活躍するプロギタリスト  
 と多くの指導者を育成。長年にわ  
 たり本県クラシックギター界をけん  
 引し、その基礎を確立した。長  
 崎市三喜台町。83歳。

◆贈呈式と受賞祝賀会  
 日時 11月29日(水) 午前11時から  
 場所 長崎新聞文化ホール・アストピア2階大ホール  
 (長崎市茂里町)

強打の左打者で内野手の  
 岩本はトリリーグ時代に  
 いる同市琴海、外海  
 区は52.04%にとどま  
 り、也て行儀が通ずる。

世界大会で優勝。早実高1  
 年の夏の甲子園大会で2本  
 塁打を放って4強入りに貢  
 献した。今年9月のU-18  
 (18歳以下)ワールドカッ  
 プ(V不)で活躍した。

長崎 佐世保 島原 諫早 大村



思い出の品に  
好評販売中!  
長崎新聞社  
写真・デジタル部  
095-844-2120

### 風・波

長崎	1
北東→北	1
佐世保	東→北
東→北	1→1.5
島原	北→東
北→東	0.5
福江	北東
北東	1→1.5
諫早	北東
大瀬	1→1.5

### 水や空

2017・10・27 一編一編は独立していて、全編を  
 通じて読むと物語をなす。詩集「ひ  
 かりあつめて」(小学館)は、学  
 校でいじめに遭った少女の独りぼっ  
 ちの戦いと、心の成長の軌跡がっ  
 づられる。そのいくつかを9月6  
 日付の本欄で引かせてもらった。新上五島  
 町の中学生がいじめに悩んで自ら命を絶  
 ち、ご両親が学校の責任を問うた訴訟が和  
 解した時のこと▲大阪在住の作者、杉本深  
 由起さんに、その時の記事や本欄の切り抜  
 きをお送りした。感想をつづる手紙を頂き、  
 その中に提案もあった。「詩集が少しでも  
 役に立てばと思い」、長崎県の子どもたち  
 に寄贈したい、と▲実に120冊を届けて  
 もらい、県教委生涯学習課の力添えで県内  
 の公立図書館に先ごろ3冊ずつお贈りした  
 (東彼杵町は教育センター図書室、川棚町  
 は中央公民館の図書室)。そろそろ各図書館  
 で読める▲詩集の「アシナガバチ」と題す  
 る一編は、窓ガラスに体当たりを繰り返す

## 生き方をリセット!

薬を5刷!!

65歳  
やめ  
高血圧・糖尿  
がんはこわ  
名郷直樹  
4六判本体1300

## 人生で大切なことはねこが教えてくれる

なりたい暮らしに  
幸せに  
ねこと暮らすこと  
成功に結びつ

## 自律神経の乱れ

J I S 認証取り消し

8、27面

神戸製鋼所は26日、子会社  
 の工場が手掛ける銅管で、工  
 業製品の品質や安全性の基準  
 である日本工業規格(J I S)  
 認証を取り消されたと発表。  
 川崎博也会長兼社長が記者会  
 見して謝罪した。